

平成31年度 乳児院事業 事業計画

1. 事業計画の概要

- ・5月の3回目の移動に備え、子どもが個々のペースで新しい環境に慣れられるよう寄り添い、ストレスの軽減を図る。
- ・ユニットが本格的に開始されるにあたり、食育を考慮した家庭に近い環境を作りつつ、専門職同士が協力し合い、子どもの安心・安全・成長・発達を保障する。
- ・「新しい社会的養育ビジョン」を理解し、地域の関係機関と連携ができるよう積極的に働きかけ、地域貢献・相談業務など新たなニーズを掘り起こし、乳児院の役割を見出す。
- ・子どもたちの命を守るため、依頼がある入所・一時保護・重要と判断するショートステイを状況が許す限り受け入れる。
- ・職員がやりがいを持って生き生きと働ける、ライフワークバランスを考えた職場環境を作る。
- ・一時保護ユニットの運営基盤を作る。
- ・人材確保と育成に努める。

2. 利用者の視点「サービスの質の向上へ」

A) サービスの質の向上

- ・親子関係の再構築を目指し、家庭引き取りの目途が立つケースは、超過児でも措置変更せずに引き取りを目指す。
 - ・家庭復帰の目途が立たない子どもは、養育里親・特別養子縁組につなげる。
 - ・入所時に保護者が施設の理解を深められるよう、新体制のパンフレットの作成・入所のしおりの作成・施設内の様子のリーフレットの作成をし、丁寧に説明する。
 - ・一時保護児童のアセスメント実施を定着させ、援助方針や課題を、相談部門・養育部門・子ども相談センターと共有できる体制を作る。
 - ・ユニットでの家庭的な養育のあり方を作成し、職員全体で共有する。
 - ・月1回はユニットで食事を作り、家の雰囲気作りや食育に取り組む。
 - ・年長児保育を実施する。
 - ・ライフストーリーワークの一環として、措置変更児の行事等に参加したり、里帰りをしてもらい人生をつなげる。
- また、里親委託された親子を一同に1回/年迎えて、里帰りをしてもらう。
- ・リスクマネジメントに取り組み、過剰に制限することなく、安心・安全に楽しく暮らせるようにする。
 - ・子どもの権利擁護を守るため、不適切な関わりについての院内研修を行い、子どもへの関りをチェックリストにより振り返りをする。
 - ・個人情報の保護についての院内研修を行い、安易に考えないよう意識付ける。

B) 新規サービスの実施

- ・定期的な発行物（機関誌）を、保護者向け・地域向けに作り発行する。
- ・全児童のライフストーリーワークを実践する。
- ・一時保護ユニットの職員配置・児童の受け方・養育の方法等について検討し、構造化していく。
- ・特別養護老人ホームと生活の中で交流する。

3. 地域への貢献「地域の福祉課題への取り組み・コミュニティ形成」

- ・妊産婦、乳幼児親子支援センターの創設。

- ・乳児保育園と連携し、お互いの仕事内容を理解する。
- ・保育園の子育て相談と連携する
- ・保育園の子育て支援事業に講師として参加する
- ・ファーストベビー（産前の関り）事業を形にして提示していく。
- ・住吉区から委託されている育児応援サポーターを継続する。
- ・ショートステイ利用者の関わり・見守りを継続する。
- ・里親サロンの場所を提供する。

4. 組織プロセス（実施体制・労働環境等）の再構築

A) 働きやすい職場環境の整備

- ・相談部門と養育部門に分け、休みの取り方や働き方を分離し、それぞれを独立させお互いが責任感を持ち、意見を言い合える職場を作る。
- ・超過勤務が一定の人に集中しないように、権限を委譲し仕事を分配し、労働の質を高める。
- ・児童記録の IT 化により記録の時間短縮を図り、勤務時間内に記録が入力できるよう工夫をする。
- ・自立支援計画の協議を充実させる。
- ・決め事は全職員で話し合っって職員会議で決め、職員会議を決定の場とする。
- ・福利厚生を充実させ、レクリエーションなどで交流を深める。

B) 事業所のプロモーション強化

- ・広報委員会とプロモーション強化委員会で SNS を活用しながら、乳児院のアピールをし人材の確保に努める。
- ・実習プログラムや実習終了後のアンケートを継続し、乳児院の魅力の発信や丁寧な実習指導につなげる。
- ・実習指導の院内研修で、実習生の学びや指導について学習する。

5. 人材の育成・定着・確保

A) 職員間の連携・コミュニケーションの向上

- ・二つの乳児院が連携し、合同で会議を実施する。
- ・階層別研修を継続し、横のつながり・縦のつながりを持てるようにする。
- ・愛着形成の研修を全職員が受けることを継続する。
- ・かるがも制度を見直し継続する。

B) 職員個々のスキルアップ

- ・キャリアパス体系に応じた研修は必ず受け、また、自分の目標に沿った研修は自由に受けられるように、研修案内を周知させ、積極的に受けられない人には声をかける。
- ・スーパーバイザーに必要なスキルを身に付ける。
- ・「新しい社会的養育ビジョン」の理解を深め、乳児院の役割・仕事内容について考える。

6. 財務基盤の安定

- ・各施設に看護師を最低 4 人配置する。
- ・保育士は 1.3:1 の確保をする。
- ・小規模加算で職員をさらに増やす。
- ・定員充足を目標とする。
- ・一時保護委託を受け入れる。
- ・支出として、引っ越し用品（家具・家電・おもちゃなど）・衣類・紙おむつ・日用品・教養娯楽費・消耗品・雑品の予算を立てる。